



第1回まちづくりアワード(実績部門) 特別賞 株式会社リゾン <埼玉県朝霞市>

■コミュニティデザインで創るふるさとまちづくり


・取組の内容4-③、5-③
【越後山中央公園】




・取組の内容4-③、5-②
・公益性①、多様性②、効果②
【越後山夏祭り】



・取組の内容6
・継続性
【越後山クラブハウス予想図】



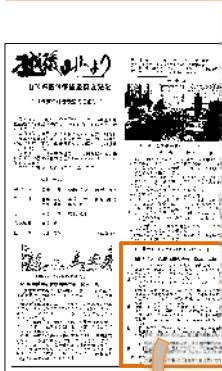
・取組の内容1、4-②
・先導性
【越後山区画整理 地図】



～コミュニティデザインで創る ふるさとまちづくり～

区画整理に先駆けて2002年～2005年に「越後山だより」を発行。全地権者にまちづくりソフトの考え方について、12回に渡り継続的に提案した。

20年前の記事



【街づくりソフトの考え方について】

株式会社リゾン 代表取締役会長 橋本 岩樹

街づくりと言いますとどうしてもハード的に考えて、公園の大きさとか、道路の広さとか、街区をどうするとか、しか考えませんがこの街のソフトのイメージを一口で言いますと住む人々(今住んでいる人、これから住む人)が、この街を「主眼のふるさと」と自然に決めたくなる楽しい街のイメージです。

一、地域から生まれた愛護と意味のある楽しいお祭りがあり、百年単位の歴史が子供の成長に紐立つ街並みがあり、安全と安心がサービス(24時間管理)という形でこの街に存在しているというイメージです。

二、自然交流が自然に生まれる暮らし環境(単なる公園ではない)があり、季節がわかる花街並みがあり、外に向けたガーデニング面がありそれが子供達の等身画と情操教育に役立つ仕組みになっているという街並みのイメージです。

三、いま一番賢い事は地域に住む人が、安心安全な環境を確保維持(その地で育れた野菜をその時にその地で消費する)が前提にして出来る仕組みを持っている。

このような楽しい生活の仕様が、この街で表現されたいと思ふ意図があり、それに伴うハードが区画整理事業の形として表現することが街づくりであると考えたいと思います。

具体的には研究会という形で実現をすべしと思います。

「越後山だより」平成14年11月24日発行より引用

コミュニティデザインの理念



【越後山地区の概要】

面積: 14.8ha 施行者: 和光市越後山土地区画整理組合 都市計画決定告示日: 平成17年7月29日 施行期間: 2005年～2024年
権利者数: 182人(令和4年3月現在) 減歩率: 21.2%(公共減歩13.73%、保留地減歩7.47%) 生産緑地: 57,391㎡ 計画人口: 1490人

【公共施設整備の概要】

区画街路: 幅員5～12m、延長3655.1m 公園面積: 4500.6㎡ 調整池面積: 1584.7㎡
ポケットパーク7か所: 271.03㎡ クラブハウス: 1棟

【添付資料】

- ①リゾンのふるさとまちづくり動画
- ②朝霞市民新報 掲載記事 全10回分
- ③越後山物語 冊子
- ④越後山での各種コミュニティイベントの様子
- ⑤越後山だより

活動や内容に関する写真及び地図



【多様性①】
地域の子供たちが中心となって、
越後山ものづくりマルシェを開催



【先導性、先進性・独自性、継続性】
住民主導による20年継続している柿酢イベント



【取組の内容4-③、先導性】
引越してくる前からご近所をご紹介します
ウェルカムパーティーの開催



【効果③】
地域の子供達にも防災意識をもたせられるような防災訓練を実施。
今では消防署の協力を得て取り組んでおり200名が参加



【先導性】
住民でポケットパークに花を植栽した。
ここで井戸端会議や子どもの見守りを行っている



【先進性・独自性、多様性③】
朝取り野菜の販売会。生産者と購入者が一緒になった
安全安心の食文化が根付く仕組みが出来上がっている



【公益性②】
まちの要望に応えスーパーマーケットを誘致し、
2022年2月にオープン



【公益性③】
越後山で開催されるイベント情報や
地域情報をFMラジオで発信